■ 徘徊防止システム「シンプル&カンタンな運用方法」

事前に登録した要介護者が出入口付近に移動し徘徊行動を始める前に、顔認証で 自動検知をしてお知らせします。

また、スマートフォンへのリアルタイム通知も可能です。



事前に撮像登録



写真データなどから入力



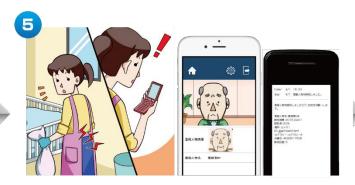
介護スタッフがついていないとき 要介護者の徘徊症状が発生! いつ症状がでるのかわからないので、 予測難しい!



要介護者が出入り口に移動することにより、設置してある監視カメラが要介護者を検知します。 24時間いつでも検知できます。



設置してあるシステムが、検知を確認 して発報!画面内の表示と検知アラート (警告灯)ブザーでお知らせします。



担当介護スタッフの手が離せないときでも、システムの 通知機能により、他の介護スタッフとの連携がスムーズ に行えます。



徘徊商状が発生した要介護者への迅速な対応が可能 となるので、行方不明等の申告な問題へ発展しない ように対策する事ができます。